

2017年度第3四半期決算説明資料

2018年1月31日

川崎重工業株式会社

目次

I. 2017年度第3四半期連結決算の概要

- 2017年度第3四半期決算実績 サマリー 3
- 2017年度第3四半期決算実績 セグメント別 4
- 前年同期比損益増減要因分析 5
- 前年同期比損益計算書の概要 6
- セグメント別決算実績／見通し
 - 船舶海洋 7
 - 車両 8
 - 航空宇宙 9
 - ガスタービン・機械 10
 - プラント・環境 11
 - モーターサイクル&エンジン 12
 - 精密機械 13
- 貸借対照表の概要 14
- キャッシュ・フローの概要 15

II. 2017年度業績見通し

- 連結受注高・売上高・利益見通し 16
- セグメント別通期業績見通し 17
- セグメント別税前ROIC等の推移 18
- 研究開発費・設備投資・期末従業員数 19

<参考資料>

- ヒストリカル・データ 20

第3四半期決算実績 サマリー

[単位：億円]

	2016年度 3Q累計	2017年度 3Q累計	増減
受注高	8,853	10,020	+ 1,167
売上高	10,430	10,923	+ 493
営業利益	228	446	+ 217
経常利益	230	399	+ 169
親会社株主に帰属する 四半期純利益	179	145	▲ 34

前年同期比

• 受注

- 航空宇宙、精密機械、プラント・環境を中心に増加

• 売上

- プラント・環境の減収等があるものの、精密機械やガスタービン・機械、モーターサイクル&エンジンの増収等により、全体では増収

• 利益

- 営業利益および経常利益は、航空宇宙の減益等があるものの、船舶海洋の改善や精密機械の増益等により、全体では増益
- 親会社株主に帰属する四半期純利益は、オフショア作業船造船契約解除に伴う損失を特別損失に計上した影響等により、減益

<売上加重平均レート>

ドル (¥/\$)	107.27	111.31
ユーロ (¥/EUR)	120.01	128.22

(参考)3Q決算実績における影響外貨量

[単位：億外貨]

ドル	ユーロ
16.1	2.0

第3四半期決算実績 セグメント別

[単位：億円]

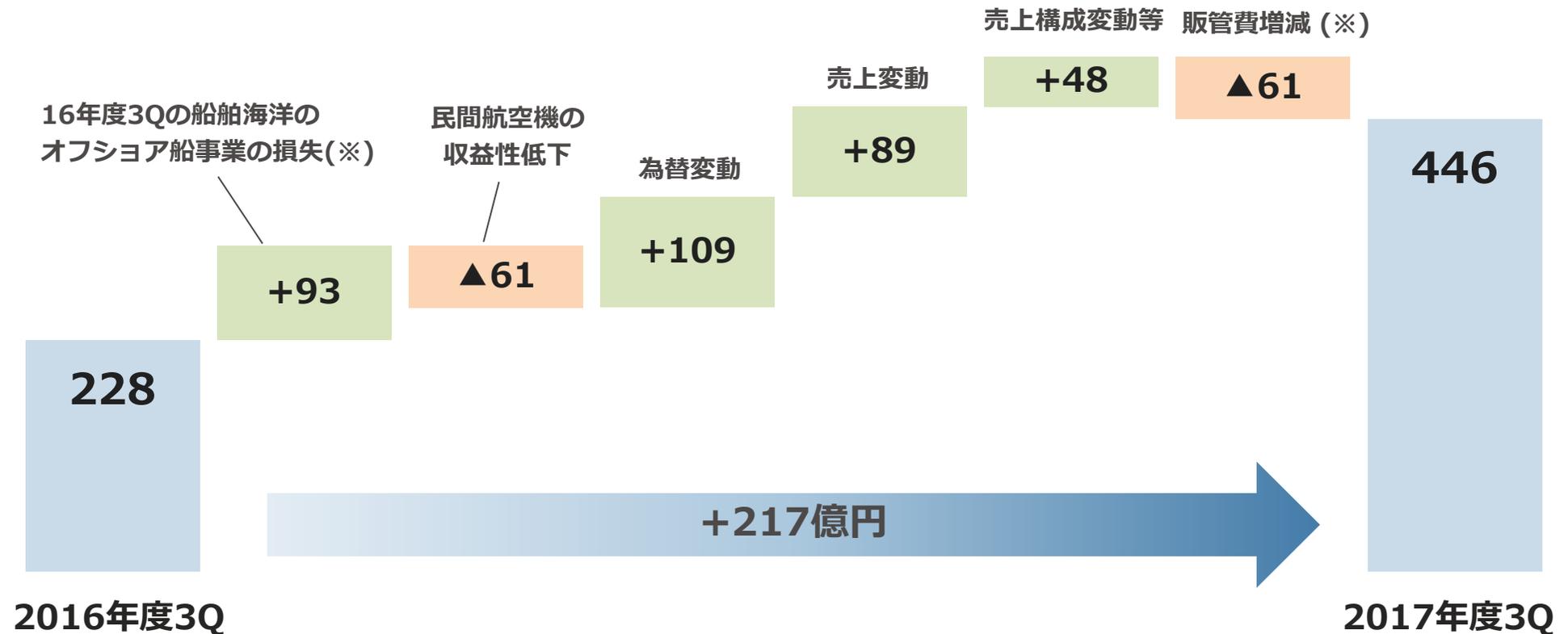
	受注高			売上高			営業利益		
	2016年度 3Q累計	2017年度 3Q累計	増減	2016年度 3Q累計	2017年度 3Q累計	増減	2016年度 3Q累計	2017年度 3Q累計	増減
船舶海洋	287	▲ 24	▲ 312	749	699	▲ 50	▲ 138	▲ 43	+ 94
車両	847	797	▲ 49	949	998	+ 48	16	23	+ 7
航空宇宙	1,488	2,512	+ 1,024	2,381	2,466	+ 85	227	173	▲ 53
ガスタービン・機械	1,923	1,680	▲ 242	1,652	1,857	+ 205	59	119	+ 59
プラント・環境	604	864	+ 260	1,142	800	▲ 342	23	▲ 0	▲ 24
モーターサイクル&エンジン	1,987	2,149	+ 162	1,987	2,149	+ 162	▲ 20	32	+ 52
精密機械	1,157	1,447	+ 290	1,035	1,363	+ 327	68	147	+ 79
その他	557	592	+ 34	532	587	+ 55	23	23	▲ 0
調整額※	-	-	-	-	-	-	▲ 31	▲ 29	+ 2
合計	8,853	10,020	+ 1,167	10,430	10,923	+ 493	228	446	+ 217

※「調整額」には、本社部門で発生する費用で社内管理上各部門への配賦を行わない費用等を含む

前年同期比損益増減要因分析

● 営業利益

– 前年同期比 + 217 億円 (2016年度3Q: 228億円 ⇒ 2017年度3Q: 446億円)



※ ブラジルの現地合併会社向け売掛債権への貸倒引当金の影響 51億円は、「16年度3Qの船舶海洋 のオフショア船事業の損失」に含む。

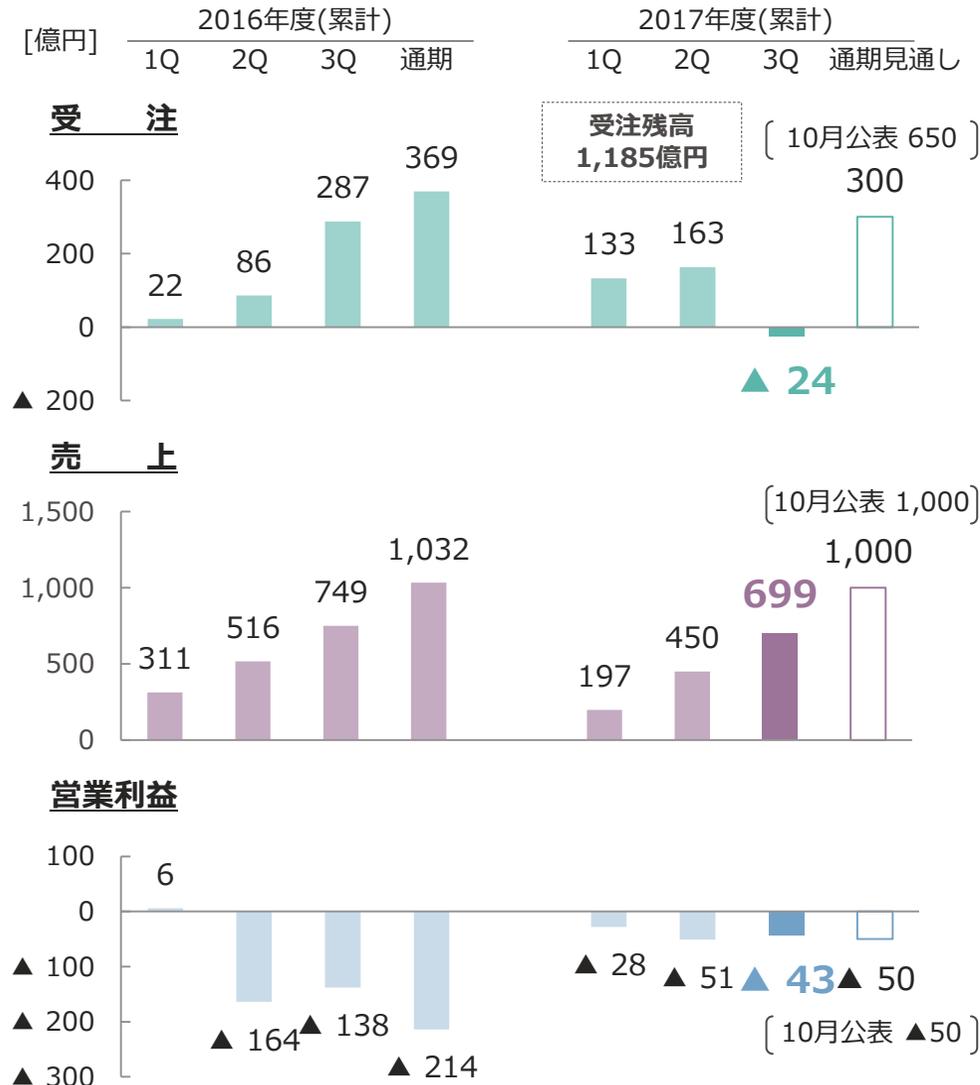
前年同期比損益計算書の概要

[単位：億円]

	前年同期比	(2016年度 3Q累計	⇒	2017年度 3Q累計)
営業損益	+	217	(228	⇒	446)
・売上高	+	493	(10,430	⇒	10,923)
・売上原価	+	265	(8,777	⇒	9,042)
・販売費および一般管理費	+	10	(1,424	⇒	1,434)
うち給料および手当	+	10	(376	⇒	386)
うち研究開発費	+	2	(308	⇒	310)
営業外損益	▲	47	(1	⇒	▲ 46)
・金融収支(受取配当金を含む)	+	0	(▲ 13	⇒	▲ 12)
・持分法による投資利益	▲	17	(48	⇒	30)
・為替差損益	+	17	(▲ 18	⇒	▲ 0)
・民間航空エンジン契約調整負担費	▲	25	(-	⇒	▲ 25)
・その他	▲	24	(▲ 15	⇒	▲ 39)
特別損益	▲	150	(22	⇒	▲ 128)
・固定資産売却益	▲	22	(22	⇒	-)
・オフショア作業船造船契約解除に伴う損失	▲	128	(-	⇒	▲ 128)

船舶海洋

主要製品：LNG船、LPG船、オフショア船、ばら積み運搬船、潜水艦



当第3四半期実績 (前年同期比)

- 受注：LPG運搬船やジェットフォイルの受注があったものの、オフショア作業船の造船契約合意解除により、潜水艦の受注があった前年同期に比べ減少
- 売上：修繕船の減少等により減収
- 営業利益：貸倒引当金の追加計上や受注工事損失引当金の繰入れ増があった前年同期に比べ改善

2017年度見通し (10月公表比)

- 受注：オフショア作業船の造船契約合意解除等により見通しを引き下げ
- 売上：前回から大きな変動はなく見通しを据え置き
- 営業利益：同上

新造船の受注・売上・受注残隻数

[単位:隻]

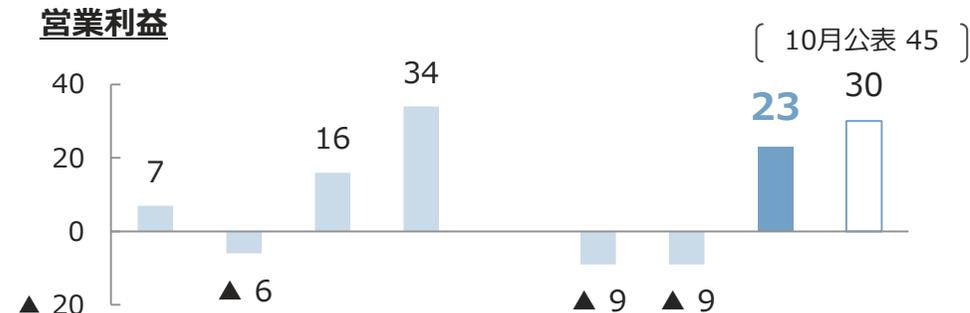
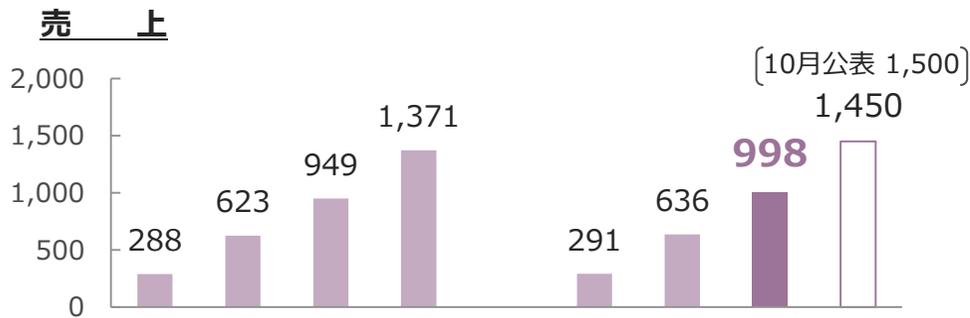
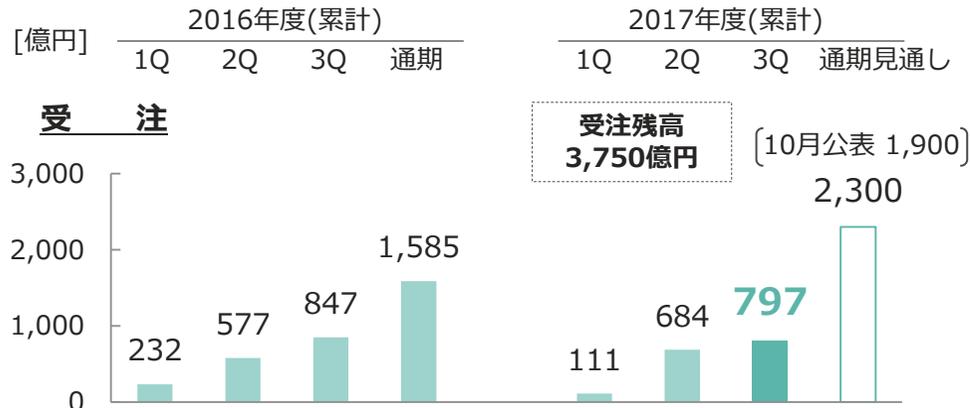
	受注 3Q累計		売上 3Q累計(※)		受注残 3Q末
	2016年度	2017年度	2016年度	2017年度	2017年度
LNG船			9	8	7
LPG船		2	7	6	6
潜水艦	1		2	2	2
その他		1	2	3	3
合計	1	3	20	19	18

※売上は進行基準を含む

	2015年度 実績	2016年度 実績	2017年度見通し	
			10月公表	今回公表
税前ROIC	▲38.4%	▲23.4%	▲5.0%	▲20.8%

車 両

主要製品：各種電車（新幹線含む）、機関車、客車、台車



当第3四半期実績 (前年同期比)

- 受 注： バングラデシュ向け都市高速鉄道車両の受注があったものの、国内向けが減少したこと等により減少
- 売 上： シンガポールなどアジア向けが減少したものの、国内向けの増加等により増収
- 営業利益： 増収により増益

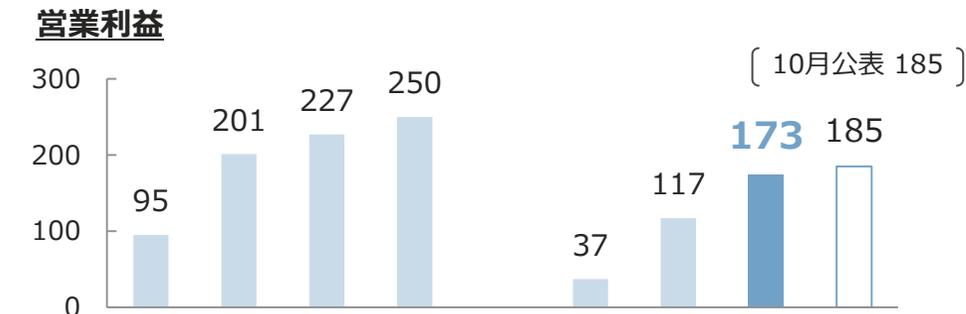
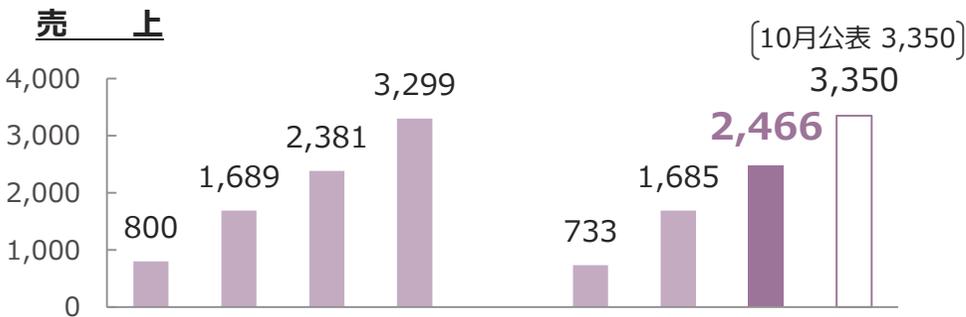
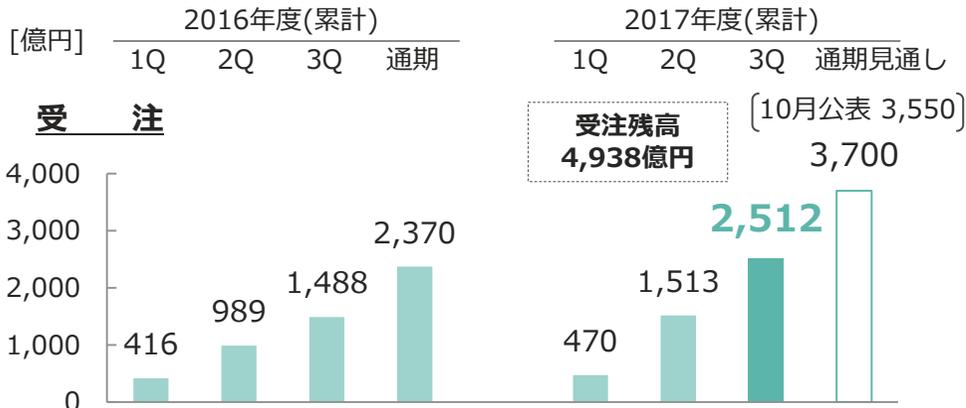
2017年度見通し (10月公表比)

- 受 注： 北米向け地下鉄の増加により見通しを引き上げ
- 売 上： 部品・メンテナンスの減少により見通しを引き下げ
- 営業利益： 減収により見通しを引き下げ

	2015年度 実績	2016年度 実績	2017年度見通し	
			10月公表	今回公表
税前ROIC	11.7%	3.0%	5.2%	3.3%

航空宇宙

主要製品：防衛航空機、民需航空機分担製造品、民間向けヘリコプター、誘導機器・宇宙関連機器



当第3四半期実績 (前年同期比)

- 受注：防衛省向けの増加等により増加
- 売上：民間航空機向け分担製造品が減少したものの、防衛省向けが増加したこと等により増収
- 営業利益：民間航空機向け分担製造品の収益性低下等により減益

2017年度見通し (10月公表比)

- 受注：防衛省向けおよび民間航空機向け分担製造品の増加等により見通しを引き上げ
- 売上：前回から大きな変動はなく見通しを据え置き
- 営業利益：同上

民需分担製造品の売上機数

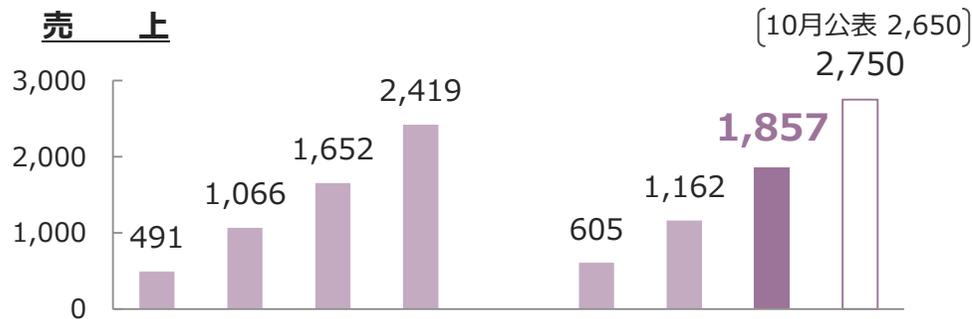
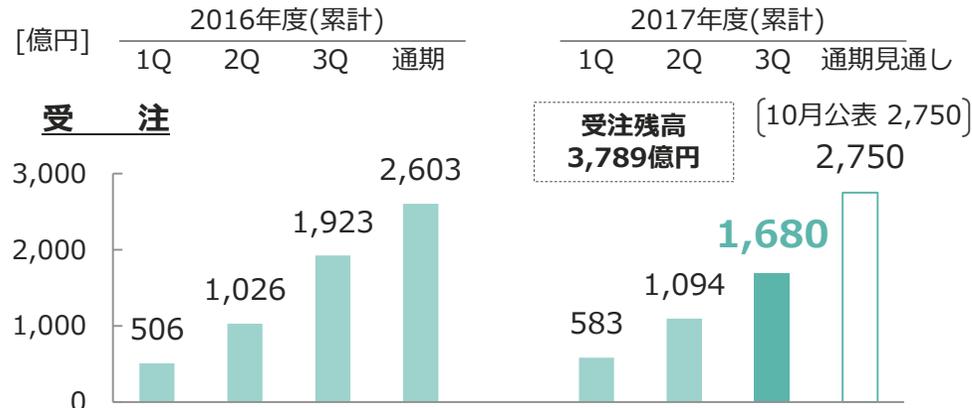
[単位:機]

	2016年度3Q	2017年度3Q
Boeing 767	18	22
Boeing 777	71	49
Boeing 787	92	105

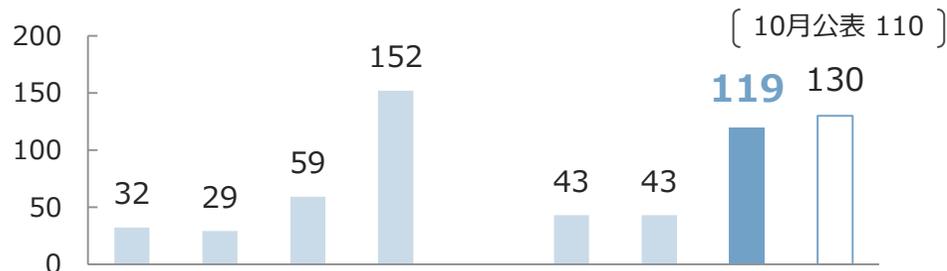
	2015年度 実績	2016年度 実績	2017年度見通し	
			10月公表	今回公表
税前ROIC	33.9%	15.1%	9.1%	9.1%

ガスタービン・機械

主要製品：航空機用エンジン、産業用ガスタービン・コージェネレーション、ガスエンジン、ディーゼル機関、陸用・船用タービン、空力・水力機械



営業利益



当第3四半期実績 (前年同期比)

- 受注：国内向けガスエンジン発電所の減少等により減少
- 売上：航空エンジン分担製造品の増加等により増収
- 営業利益：増収等により増益

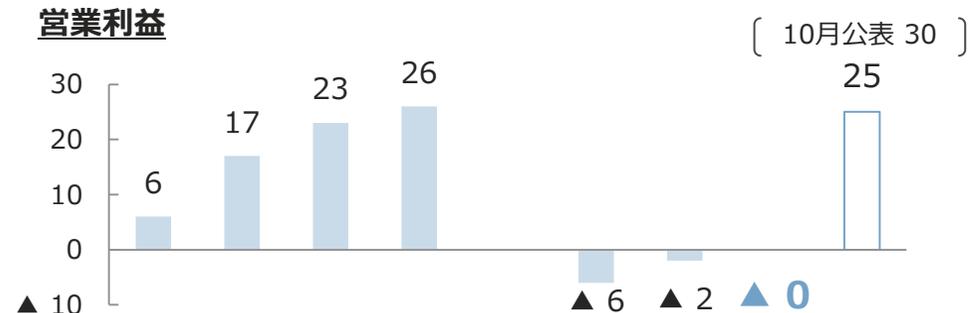
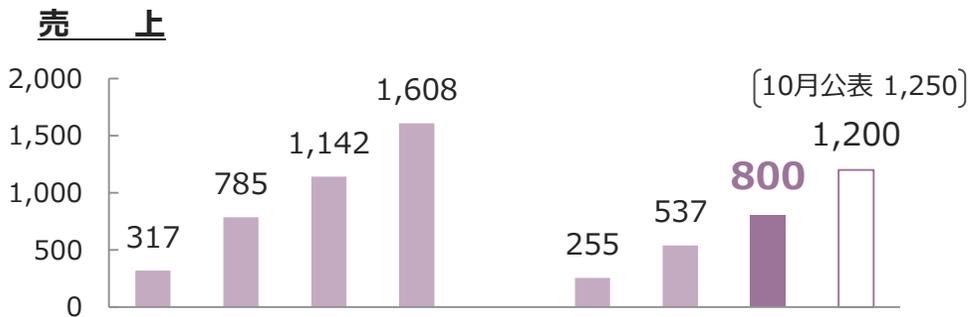
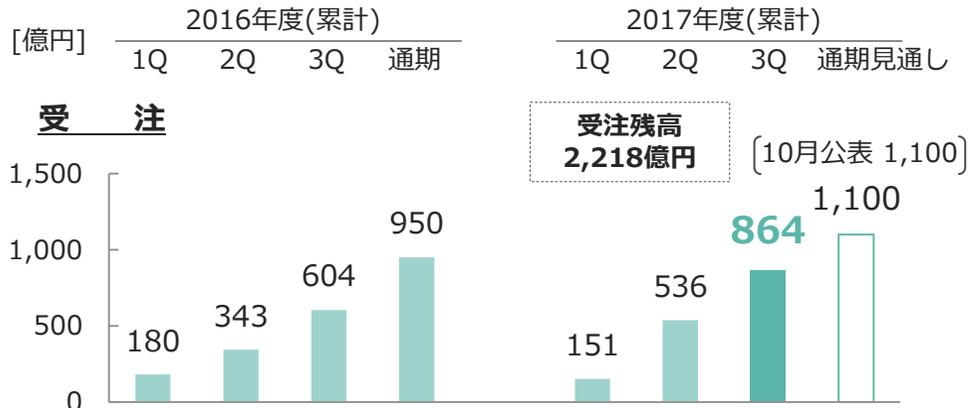
2017年度見通し (10月公表比)

- 受注：前回から大きな変動はなく見通しを据え置き
- 売上：航空エンジン分担製造品の増加により見通しを引き上げ
- 営業利益：増収等により見通しを引き上げ

	2015年度 実績	2016年度 実績	2017年度見通し	
			10月公表	今回公表
税前ROIC	8.8%	7.1%	4.6%	3.9%

プラント・環境

主要製品：産業プラント（セメント、肥料等）、発電プラント、LNGタンク、ごみ焼却プラント、トンネル掘削機、破碎機



当第3四半期実績（前年同期比）

- 受注：ごみ処理施設の建設および運転管理業務の増加等により増加
- 売上：海外向け化学プラントの工事量減少等により減収
- 営業利益：減収により損益悪化

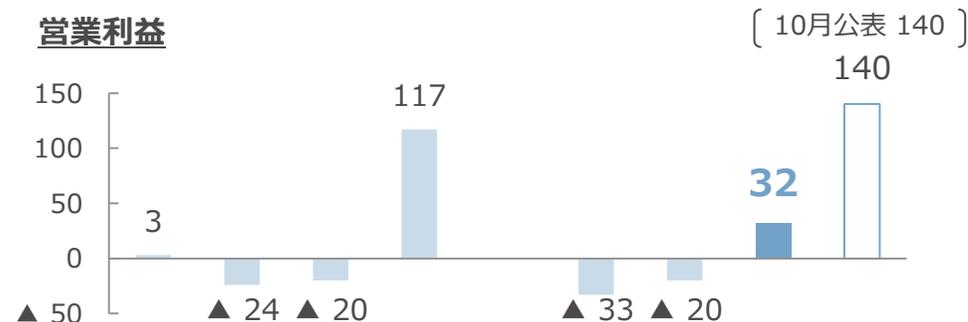
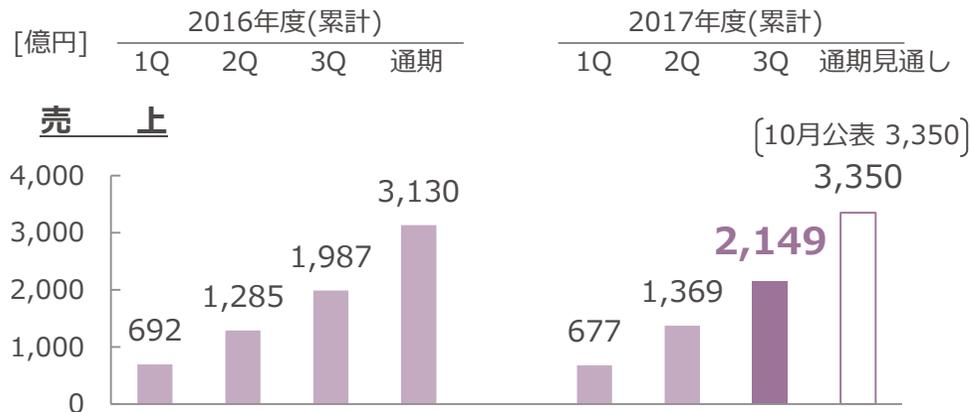
2017年度見通し（10月公表比）

- 受注：前回から大きな変動は無く見通しを据え置き
- 売上：海外向け化学プラントの工事量減少等により見通しを引き下げ
- 営業利益：減収により見通しを引き下げ

	2015年度 実績	2016年度 実績	2017年度見通し	
			10月公表	今回公表
税前ROIC	17.5%	8.9%	5.4%	5.3%

モーターサイクル&エンジン

主要製品：二輪車、多用途四輪車、四輪バギー車（ATV）、PWC、汎用エンジン



製品別売上（卸売）台数・金額

[単位:千台、億円]

	2016年度3Q		2017年度3Q	
	台数	金額	台数	金額
先進国二輪車	92	656	96	748
新興国二輪車	231	588	228	566
四輪車・PWC	44	480	43	505
汎用エンジン		263		329
合計	367	1,987	366	2,149

当第3四半期実績（前年同期比）

- 売上：新興国向け二輪車が減少したものの、先進国向け二輪車や汎用エンジンの増加により増収
- 営業利益：増収による増益により損益改善

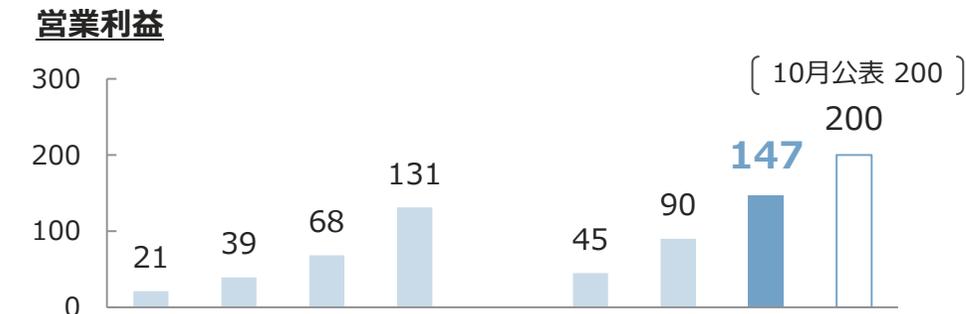
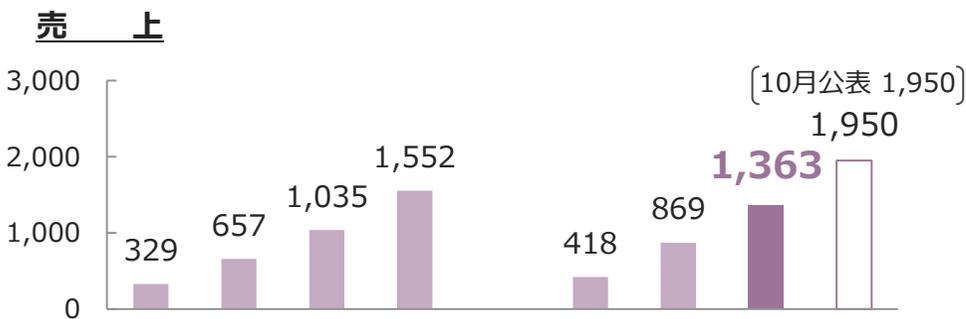
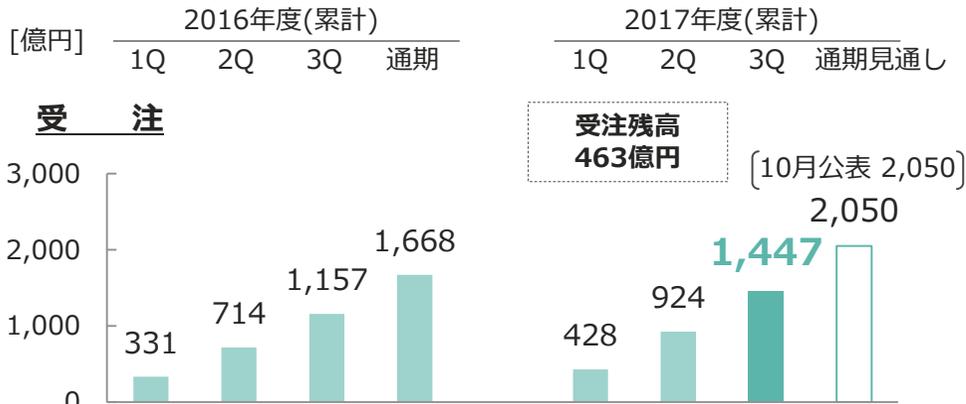
2017年度見通し（10月公表比）

- 売上：前回から大きな変動はなく見通しを据え置き
- 営業利益：同上

	2015年度 実績	2016年度 実績	2017年度見通し	
			10月公表	今回公表
税前ROIC	14.1%	7.3%	10.9%	10.9%

精密機械

主要製品：建設機械用油圧機器、産業機械用油圧機器・装置、船用舵取機、船用各種甲板機械、産業用ロボット、医薬・医療ロボット



当第3四半期実績 (前年同期比)

- 受注：建設機械市場向け油圧機器の増加により増加
- 売上：建設機械市場向け油圧機器や各種ロボットの増加等により増収
- 営業利益：増収により増益

2017年度見通し (10月公表比)

- 受注：前回から大きな変動はなく見通しを据え置き
- 売上：同上
- 営業利益：同上

	2015年度 実績	2016年度 実績	2017年度見通し	
			10月公表	今回公表
税前ROIC	9.5%	13.4%	19.6%	19.6%

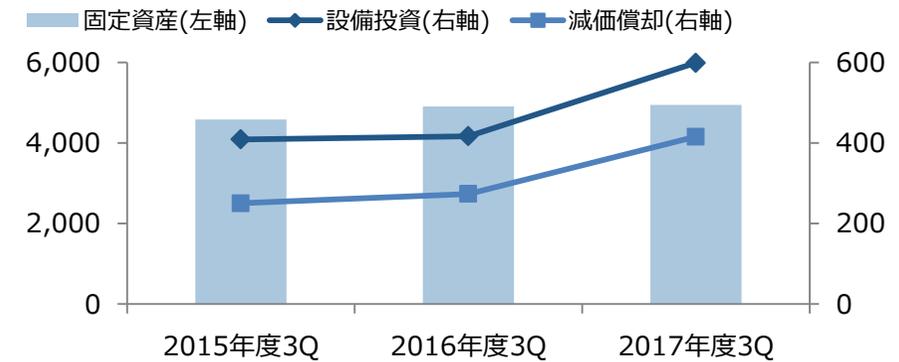
貸借対照表の概要

- 当四半期末の総資産は、売掛債権の増加や棚卸資産の増加等により、前期末に比べ増加。
- 負債は、前受金の減少等があるものの、借入債務の増加等により、前期末に比べ増加。
- 純資産は、配当金の支払による減少等があるものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による増加等により、前期末に比べ増加。

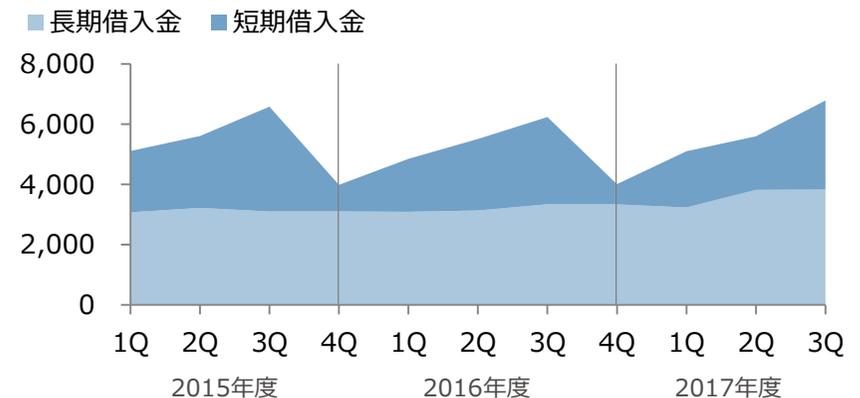
[単位：億円]

	2016年度末	2017年度 3Q末	増減
現預金	553	504	▲ 49
売掛債権	4,446	5,585	+ 1,139
棚卸資産	4,848	5,587	+ 739
有形・無形固定資産	4,771	4,944	+ 172
その他資産	2,253	2,412	+ 159
資産合計	16,873	19,034	+ 2,160
買掛債務	3,420	3,451	+ 31
借入債務	4,006	6,782	+ 2,775
前受金	2,058	1,641	▲ 417
その他負債	2,874	2,493	▲ 381
負債合計	12,360	14,368	+ 2,008
株主資本	4,462	4,525	+ 63
その他純資産	50	139	+ 88
純資産合計	4,513	4,665	+ 151
負債・純資産合計	16,873	19,034	+ 2,160
自己資本比率	25.9%	23.6%	
Net D/E レシオ	78.9%	139.1%	

設備投資等の推移 (単位：億円)



有利子負債の推移 (単位：億円)



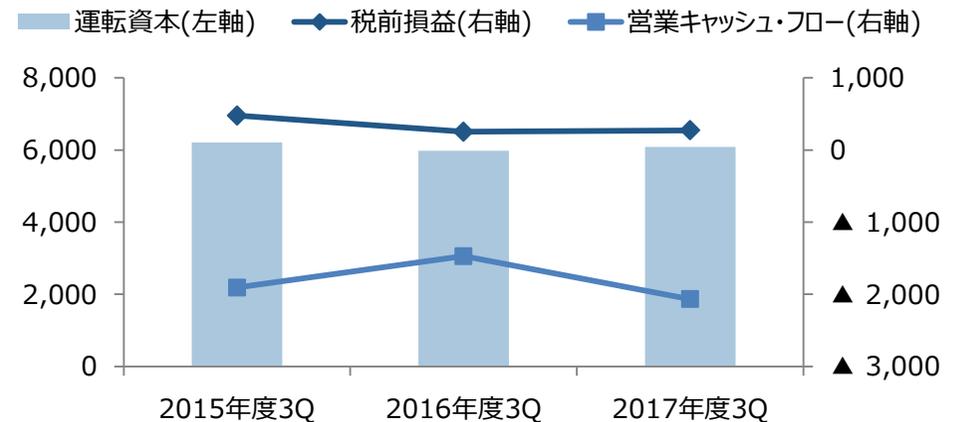
キャッシュ・フローの概要

[単位：億円]

	2016年度 3Q累計	2017年度 3Q累計	増減
営業キャッシュ・フロー	▲ 1,472	▲ 2,067	▲ 594
投資キャッシュ・フロー	▲ 468	▲ 664	▲ 196
フリー・キャッシュ・フロー	▲ 1,941	▲ 2,732	▲ 791
財務キャッシュ・フロー	2,062	2,695	+ 632

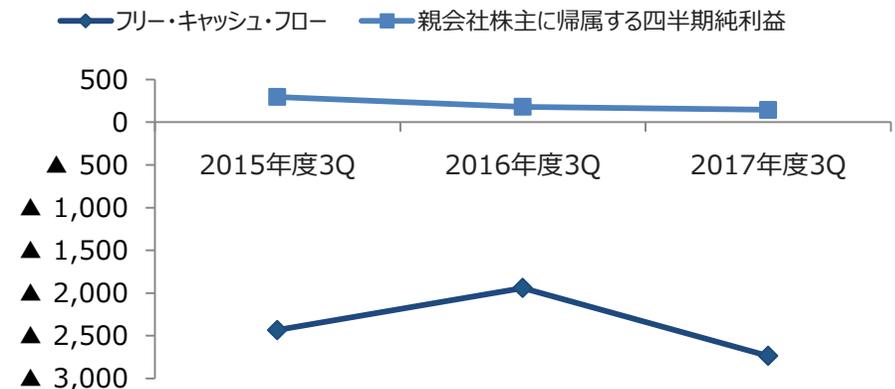
- 営業キャッシュ・フローは、海外案件における支出の増加や前受金の期ずれによる減少、棚卸資産の増加等により、前年同期に比べ悪化
- 投資キャッシュ・フローは、設備投資の支払が増加したことに加え、前年同期は固定資産売却による収入があったこと等により悪化
- この結果、フリー・キャッシュ・フローは前年同期に比べ悪化

営業キャッシュ・フロー等の推移 (単位:億円)



フリー・キャッシュ・フローと

親会社株主に帰属する四半期利益の推移 (単位:億円)



連結受注高・売上高・利益見通し

[単位:億円]

	2016年度 実績	2017年度見通し		増減	
		12月公表 ※1	今回公表	前年度比	12月公表比
受注高	13,487	16,200	16,400	+ 2,913	+ 200
売上高	15,188	15,900	15,900	+ 712	-
営業利益	459	620	620	+ 161	-
経常利益	366	555	555	+ 189	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	262	350	335	+ 73	▲ 15
税前ROIC	5.0%	6.4%	4.9%	▲ 0.1%	▲ 1.5%
ROE	6.0%	8.4%	7.3%	+ 1.3%	▲ 1.1%
配当 (1株当たり)	6円	※2 60円	※2 60円	-	-

※1 受注高、税前ROIC、ROE及び配当 (1株当たり) の数値は10月公表口

※2 株式併合前6円相当(当社は、2017年10月1日をもって、普通株式10株を1株に併合)口

<実績/前提レート ※3 >

ドル (¥/\$)	108.98	110	110
ユーロ (¥/EUR)	120.24	130	130

※3 前提レートは見通し公表時の為替エクスポージャーに対して適用

見通し修正の理由等

• 受注

- 車両および航空宇宙の増加により見通しを引き上げ

• 売上

- 車両およびプラント・環境の減収はあるものの、ガスタービン・機械の増収等により、全体としては見通しを据え置き

• 利益

- 営業利益および経常利益は、車両およびプラント・環境の減益はあるものの、ガスタービン・機械の増益等により、全体としては見通しを据え置き
- 親会社株主に帰属する四半期純利益は、米国税制改正に伴う税金費用の増加等により、見通しを引き下げ

(参考)為替影響額1円の変動による影響額

[単位:億円]

	営業利益	経常利益
ドル	5.3	8.2
ユーロ	0.8	1.3

セグメント別通期業績見通し

[単位:億円]

	受注高			売上高			営業利益		
	2016年度 実績	2017年度見通し		2016年度 実績	2017年度見通し		2016年度 実績	2017年度見通し	
		10月公表	今回公表		10月公表	今回公表		10月公表	今回公表
船舶海洋	369	650	300	1,032	1,000	1,000	▲ 214	▲ 50	▲ 50
車両	1,585	1,900	2,300	1,371	1,500	1,450	34	45	30
航空宇宙	2,370	3,550	3,700	3,299	3,350	3,350	250	185	185
ガスタービン・機械	2,603	2,750	2,750	2,419	2,650	2,750	152	110	130
プラント・環境	950	1,100	1,100	1,608	1,250	1,200	26	30	25
モーターサイクル&エンジン	3,130	3,350	3,350	3,130	3,350	3,350	117	140	140
精密機械	1,668	2,050	2,050	1,552	1,950	1,950	131	200	200
その他	809	850	850	774	850	850	31	40	40
調整額※	-	-	-	-	-	-	▲ 70	▲ 80	▲ 80
合計	13,487	16,200	16,400	15,188	15,900	15,900	459	620	620

※「調整額」には、本社部門で発生する費用で社内管理上各部門への配賦を行わない費用等を含む

セグメント別税前ROIC等の推移

	税前ROIC ((税前利益+支払利息)/投下資本)			営業利益率 (営業利益/売上高)			総資産回転率(倍) (売上高/総資産)		
	2016年度 実績	2017年度見通し		2016年度 実績	2017年度見通し		2016年度 実績	2017年度見通し	
		10月公表	今回公表		10月公表	今回公表		10月公表	今回公表
船舶海洋	▲23.4%	▲5.0%	▲20.8%	▲20.7%	▲5.0%	▲5.0%	0.61	0.62	0.65
車両	3.0%	5.2%	3.3%	2.5%	3.0%	2.0%	0.83	0.85	0.80
航空宇宙	15.1%	9.1%	9.1%	7.5%	5.5%	5.5%	0.76	0.77	0.77
ガスタービン・機械	7.1%	4.6%	3.9%	6.3%	4.1%	4.7%	0.69	0.73	0.75
プラント・環境	8.9%	5.4%	5.3%	1.6%	2.4%	2.0%	1.35	0.93	0.93
モーターサイクル&エンジン	7.3%	10.9%	10.9%	3.7%	4.1%	4.1%	1.28	1.34	1.35
精密機械	13.4%	19.6%	19.6%	8.4%	10.2%	10.2%	0.98	1.18	1.15
合計	5.0%	6.4%	4.9%	3.0%	3.8%	3.8%	0.88	0.90	0.89

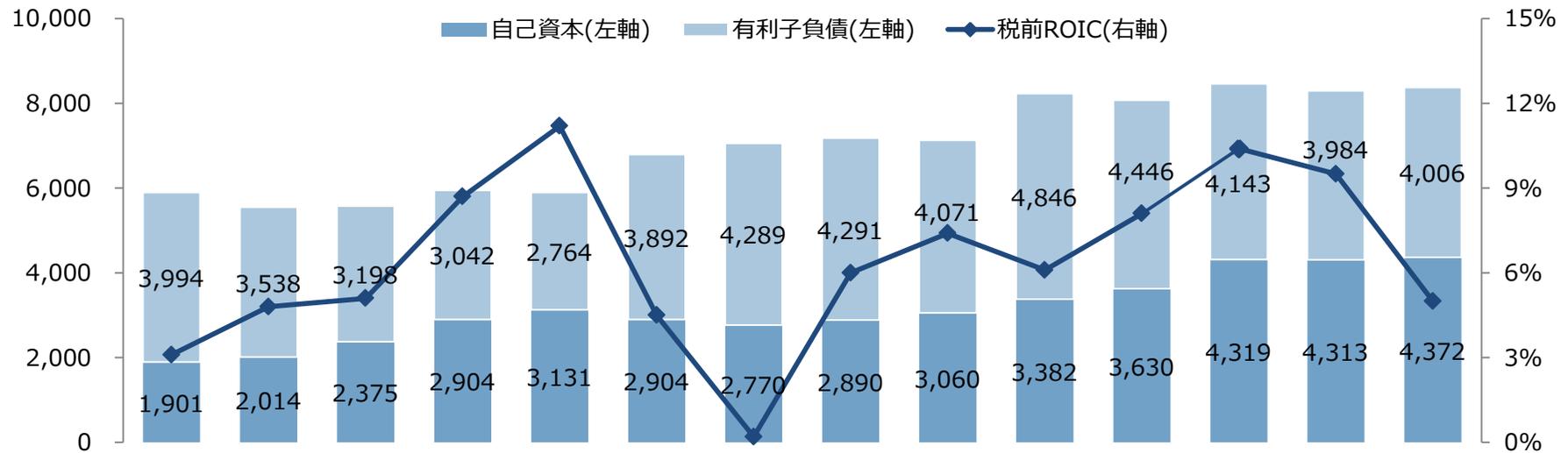
研究開発費・設備投資・期末従業員数

[単位:億円、人]

		2016年度実績	2017年度見通し		
			10月公表	今回公表	10月公表比
研究開発費		436	480	480	-
設備投資(※)		827	940	940	-
減価償却費(※)		515	520	520	-
	国内	26,348	27,300	27,300	-
	海外	8,779	9,100	9,100	-
期末従業員数		35,127	36,400	36,400	-

※設備投資額は有形・無形固定資産の新規計上額、減価償却費は有形・無形固定資産の減価償却実施額

ヒストリカル・データ



[単位：億円]	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度
税前ROIC	3.10%	4.8%	5.1%	8.7%	11.2%	4.5%	0.2%	6.0%	7.4%	6.1%	8.1%	10.4%	9.4%	5.0%
投下資本	5,896	5,553	5,573	5,946	5,896	6,797	7,059	7,182	7,132	8,228	8,076	8,463	8,297	8,379
売上高	11,602	12,415	13,224	14,386	15,010	13,385	11,734	12,269	13,037	12,888	13,854	14,861	15,410	15,188
営業利益	222	247	417	691	769	287	▲ 13	426	574	420	723	872	959	459
経常利益	121	210	308	490	639	387	142	491	636	393	606	842	932	366
親会社株主に帰属する 当期純利益※	63	114	164	297	351	117	▲ 108	259	233	308	386	516	460	262
※2014年度までは「当期純利益」														
為替レート ¥/\$	113	108	112	117	115	101	93	86	79	82	99	109	118	108

世界の人々の豊かな生活と地球環境の未来に貢献する “Global Kawasaki”

ご注意

本資料のうち、業務見通し等に記載されている将来の数値は、現時点で把握可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの業績見通しのみを依拠して投資判断を下すことはお控え下さるようお願い致します。実際の業績は、外部環境及び内部環境の変化によるさまざまな重要な要素により、これら
の見通しとは大きく異なる結果となり得ることを御承知おき下さい。実際の業績に影響を与える重要な要素には、当社の
事業領域をとりまく経済情勢、対米ドルをはじめとする円の為替レート、税制や諸制度などがあります。